



第 37 号

千 町 田

発行元:(農)のきの郷
安来市利弘町 922-3
Tel/Fax:22-2580
発行責任者:河津 一行

のきの郷の将来

副代表理事 総務部長 河津 一行

まだ薫風を感じる頃のはずなのにもう初夏の陽気を感じる今日この頃です。今年も暑くなりそうな予感がしますね。やはり地球温暖化は進んでいるのでしょうか。

さて、農事組合法人のきの郷の将来を予想すると、これは地域の将来を考えていくこととなります。農地の一体化が図られ圃場整備が完成しきの郷が発足してから丸6年が過ぎました。現在のきの郷は、施設や農業機械の充実を図り、事業や経営も順調に推移しています。しかしながら将来の備えが十分ではない状態です。それには、まず人材の確保が必要です。地域において随所で空き家が目立って来ている様子で、家を守ることもままならない時代が来ているような気がしています。また地域住民もこれからさらに減少するものと思われれます。

よいか。一般的な



に考えられるのは、のきの郷にターナー者や外国労働者を雇用するというものです。しかしそのような流れに行く前に、私はこの地域にもまだまだ若い力があると思っています。これからの定年世代の人達は年金が減らされ、受給年齢もどんどん高くなっていくと思われれます。会社を定年退職後にでものきの郷で働いていけるような仕組み作りを取り組んでいく必要があります。

ます。これらの問題を解決するためには組合員の皆様のご理解とご協力がなければなりません。そしてこの取組みが地域や住民を守ることにつながると思えます。のきの郷が多くの人々の笑顔を絶やさない地域の先導者になれるよう努力してまいります。そのためにも、地域の若い力に大いに期待しています。

能義小田植え体験学習

また、今以上に農業技術や農業機械がDT化して進歩していきます。その流れに乗り遅れないよう、新しい考え方や技能など情報を取り入れていくことが必要となります。

5月27日能義小学校5年生11人が田植えの体験学習を行いました。小学校裏手の圃場の一画で田植えを行いました。最初に山本組合長より水稻には品種がありそれぞれ名前があることを聞き、その後圃場で苗の持ち方植え方を教わり田植えを行いました。実際に植えたのはわずかでしたが、作業後の感想は「お米を作るのは大変なこと」「感謝をしてご飯を食べなくてはいけない」などありました。秋には稲刈作業も体験します。



お知らせ

恒例のきでこしない祭りを開催します。詳細は別途ご連絡いたしますので、ご家族おそろいでお越しくださう。

開催日：7月14日(日)
午後5時30分より

春作業始まる

春作業真っ最中です。4月20、21日にこまる、もち米の種まきを行いました。延べ58の方が作業にうられました。

田植えは、第1弾が4月25日から、きぬむすめ、つや姫、こしひかり、WCS稲。第2弾は5月25日から、こまる、もち米を行いました。第3弾は6月14日より飼料用米の予定となっています。

第1弾は慶祝ムード漂う10連休中、第2弾は5月にして記録的な暑さの中で、都合を調整したり体調管理が大変だったと思います。本当にお疲れさまでした。

また、今回よりやすぎ農業サポートセンターより人員派遣いただき作業に協力してもらっています。

第3弾の田植えが終わる頃には、菜種と麦の刈取り、大豆の播種と作業は続きます。



導入機械紹介

のきの郷では、随時農業機械の更新導入を行っています。これから折々に紹介していきます。

まずは、4月に導入したトラクタです。クボタのパワクロ60馬力のトラクタです。パワクロというのは、前輪がホイールで後輪がクローラーの機種呼び名です。既存のトラクタは47〜48馬力ですので格段に能力が向上しています。またクローラーのため今まで入りづらかったぬかるんだ圃場にも対応できます。



夏の贈答品

夏のご挨拶にのきの郷のなたね油はいかがですか。包装、のし掛けも承ります。
500ml 3本箱入り 2590円

内祝いご法要のお返しなどにも、ぜひご利用ください。

保有米・縁故米

現在、注文いただいている保有米・縁故米の数量について追加変更が可能です。ご希望がありましたら事務所までご連絡ください。



☎ちよっこし聞いて☎

今年は春が短くあっという間に夏の到来となりました。5月は記録的な暑さと少雨となり、『山陰はいつから晴れの国になったのだろう?』なんて思わずにはいられない気象状況でした。いつも天気が良くて洗濯物はよく乾いたのですが、それと一緒に田んぼも畑もよく乾き、代かき水の確保や田植え後の水管理、はたまた畑の苗物への水やりと農作物の管理は大変なご苦労だと思えます。

長期予報では6月は雨が少なく7月8月は雨の日が多くなるとのこと。梅雨にはそれなりに雨が降り夏の間は太陽さんと仲良し。そんな季節のめぐりが少しずつ変わってきているのでしょうか。(お)

